

《一人ひとりの意思と努力によって、原発のない安全な社会を実現しよう！》

『さようなら原発・1000万署名』は、4/27 現在、6,590,558 筆になりました。5/31 まで続けられます。未成年者・赤ちゃんの名前も歓迎です。1000万筆を目指して、もう一息！どうぞご協力下さい。

|| 読者からのお便り ||

「一人でも(デモ)参加への誘い」

5月5日、子供の日。芝公園・東京タワー下の「さようなら原発(ゴーゴー)」集会とそれに続くデモに個人で参加しました。五月晴れの爽やかな日和でした。

地下鉄駅から地上に出た処に右翼の街宣車が5台。スピーカーカーで大音響を発し、「参加者の中に革マル派が混じっている! 気をつける!」とアンチチャン風の若者が車中からマイクで怒鳴っています。傍らには沢山の警察官が出ていて、右翼と集会参加者が接触しないようにガードしていました。

芝公園の入り口でいろいろなチラシを配っていました。なんと、革マル派の人もいて、チラシをくれたではありませんか! 壇上では「福島の人たちの会代表の人、韓国から来た人、北海道からは「泊原発を推進する道知事は元経産省役人であつて北海道人ではないから、任務が終われば本州に帰ってしまう」と訴える人等々。(この辺で少々疲れたので木陰で一休み)

遠くから、聞き慣れた落合恵子さんのスピーチの音が聞こえてきました。デモに移るまで、小さい紙の鯉のぼりをくれた個人参加の若い女性とお喋り。一人参加だと自由だものね! と意見が一致しました。結構、個人参加者が多かったようです。

その後、彼女は一人でデモ隊の中に入って行き、私は別行動をとりました。

そこで、私は不思議な一団を見ました。女性も一人いましたが、30人くらいの男性群で、どこにでもいるラフな格好をした若者たちが、携帯電話とメモを持って何か打ち合わせもしているように集まっているのです。鈍感な私ですが、ピンと来たのは、「彼らは公安の人達で、普通の若者のようにして集会の中に散らばっているのではないかと」ということです。バイト代いくらかかなあ? とか、いやいや公務員なのかも? とか勝手な想像が湧いてきます。いろいろ社会勉強にもなりました。

常日頃、「国が方向を決める重大な事について、イエスカノーかをよく考えて自分の意思表示をして行くことは、次世代に対する責任だ」と、私は考えています。デモ参加もその一つです。思いがけない発見もあって、私はデモへの一人参加を皆さんにお勧めします。因みに、この日の参加者は約5500人(主催者調べ)とのことでした。(町田市 K・Yさん 70代)

## 小出裕章さん講演会

「子どもたちを放射能から守るために！」

5月26日(土) 12:15~15:00

会場：神奈川芸術劇場 (JR 関内駅 15分・みなとみらい線日本大通り駅 5分) / 参加費：前売り 900円、当日券 1,000円 / 主催：526 小出裕章ヨコハマ講演実行委 《<http://sukoyakahiroba.com/526koidehiroaki/>》

## 「反原発」ツイッター・デモ (第11回)

5月27日(日) (予定)

集合：14時・みやしたこうえん北側 (渋谷駅から徒歩約5分)

出発：15時 (予定) ・どなたもご自由どうぞ!

主催：TwitNoNukes

《<http://twitnonukes.blogspot.com>》

## もう原発は動かさない! 発信する女たち 6.2集会

日時・6月2日(土) 開場 13:00 開会 13:30 閉会 16:00

会場・日本教育会館 (3階ホール) (地下鉄・神保町駅 A1 出口より徒歩3分)

お話・満田夏花さん (国際環境NGO FoE Japan) 『脱原発と福島の現状』

発信する女たち (パート1)

田中優子さん (法政大学教授)、神田香織さん (講談師)、渡辺一枝さん (作家)、坂田雅子さん (映画監督)、上野千鶴子さん (NPO法人ウィメンズアクションネットワーク理事長)

発信する女たち (パート2)

コーディネーター・古今亭菊千代さん (落語家)

若い世代から「福島に生きる選択・福島を離れる選択」/会場から

参加費・1000円 (お申込みは、<http://www.nnpfem.com/> より)。手話通訳、託児あります。

主催・脱原発をめざす女たちの会 (Tel: 080-3174-3584, Fax: 03-6551-1111)

【後記】私達は、放射能の心配がない安全安心な生活環境を取り戻したいと願う者のグループです。

毎月1・11・21日にこのニュースをお届けします。Faxにて集会情報のご投稿をお願いします。